

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 5月28日更新

事務事業名		特産品地域ブランド推進協議会運営活動支援事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり			所属部	政策部	課長名	古庄 一也
	施策	11	農業の振興			所属課	商工振興課	担当者名	後藤 圭子
	基本事業	34	関係機関との連携の強化			所属班	農商工連携班	(内線)	1272
予算科目		会計一般	款 7	項 1	目 1	事業連番 11316	法令根拠	成果優先度評価結果 : ⑥ コスト削減優先度評価結果 : ⑨	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	【開始した背景・きっかけ】 H19年5月に財団法人くまもとテクノ産業財団の「イノベスト」センターが西合志庁舎に設置され、その活動の中から合志市の物産をブランド化する活動に発展した。 【事業の内容】 合志市特産品地域ブランド推進協議会の企画運営 認証の対象となる製品の調査 合志ブランド認証品の生産者及び合志のうまかもん店に登録された店舗との連携
【業務の流れ】	【協議会の企画運営】 会議企画の立案、開催通知発送、会議の進行・記録、報酬等の支払 【認証の対象となる製品の調査】 ネットや口コミでの製品情報収集、生産者を訪問して聞き取り調査 【認証品生産者及び合志のうまかもん店登録店舗との連携】 ホームページやパンフレット等の作成・更新、育成会との協議、共販会等の企画運営(会場申込み、出展者募集、搬入搬出、会場設営)
【主な予算費目】	報酬、職員手当、報償費、旅費、需用費、役務費、負担金補助及び交付金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	ブランド認証品を合志市内外にさらに広く知ってもらい、合志市の知名度向上にもつながるよう、ブランド認証品の量販店等への常設設置や、販売会等への参加の必要があるとの意見がある。

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	協議会、専門部会等の開催、生産者等の調査と認証品・うまかもん店の選定、認証者・うまかもん店登録者との連絡調整、共同販売会等の実施、ホームページの運営管理	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
協議会、専門部会等の開催、生産者等の調査と認証品・うまかもん店の選定、認証者・うまかもん店登録者との連絡調整、共同販売会等の実施、ホームページの運営管理		協議会、専門部会等の開催、生産者等の調査と認証品・うまかもん店の選定、認証者・うまかもん店登録者との連絡調整、共同販売会等の実施、ホームページの運営管理
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回	予算の主な増減の理由
→ ア 協議会の開催回数	回	協議会補助金(PR広告料)と公用車車検代の増
→ イ 専門部会の開催回数	回	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位) 者	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
市内農家、市内商工業者、市内消費者、市産農産物等(加工品含む)	者	→ ア 認証対象の生産者
	件	→ イ 認証対象の産物等数
	件	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位) 件	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
物産品を「合志ブランド」として認証する	件	→ ア 認証した物産数
	件	→ イ
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
合志ブランドとして認証した物産品が増えることで、意図の成果がわかる。		全体計画
		~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	21年度実績(決算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	23年度実績(決算)	24年度目標(当初予算)	25年度予定	26年度見込	27年度見込
① 活動指標	ア 回		4	4	4	4	4	4	4	4
	イ 回		22	11	24	14	18	18	18	18
② 対象指標	ア 者		20	30	40	30	50	50	50	50
	イ 件		28	30	50	30	50	50	50	50
③ 成果指標	ア 件		0	19	35	22	40	40	40	40
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円				136			
		繰入金	千円							
	一般財源	千円	3,800	4,905	6,825	6,068	6,937	7,300	7,300	7,300
	(A) 事業費計	千円	3,800	4,905	6,825	6,204	6,937	7,300	7,300	7,300
人件費	(A)のうち指定経費	千円	0	2,430	2,929	2,540	2,886	2,900	2,900	2,900
	(A)のうち時間外、特勤	千円	381	186	202	125	173	200	200	200
	正規職員従事人数	人	3	2	2	2	3	3	3	3
延べ業務時間	時間	1,620	2,020	1,500	2,051	1,500	1,500	1,500	1,500	
(B) 人件費計	千円	6,447	8,322	6,180	8,281	6,180	6,180	6,180	6,180	
トータルコスト(A)+(B)	千円	10,247	13,227	13,005	14,485	13,117	13,480	13,480	13,480	

事務事業名	特産品地域ブランド推進協議会運営活動支援事業	所属部	政策部	所属課	商工振興課
-------	------------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した H23年度に22品目の特産品を合志ブランドに認証した。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 生産者の情報を集め、更に合志ブランド品を認証する。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 順じ協議会で認証していく予定であり、向上余地はある。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 特産品地域ブランド推進協議会のような活動は他にない。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 委員の報酬と費用弁償が主であるが、ブランド品の認証や認証品の売り出し方法など検討する必要があり、会議の回数は減らせないので、削減余地はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 担当一人と非常勤職員で担当しており、人件費の削減余地はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 市内の産業を育てる取組であり公平であるが、直接的な受益は事業者等に及ぶので、協議会運営へ、何らかの負担を求めることも考える必要がある。	<input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 現在は、協議会を市が主体で運営しているが、物産振興会等があれば運営主体を移行した方が良い。	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

H23年度は、22品目の認証品を選定することができ、次年度も順じ認証品を増やしていく。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 協議会を市が主体で運営しているが、受け皿となる外部の団体に運営の主体を移行していく。		(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 市が実施している協議会の事業を受け皿となる外部の団体へ移譲する方法。																							